

第三次かごしま市食育推進計画素案に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1 意見の募集期間 平成30年10月5日（金）～平成30年11月5日（月）

2 意見の提出者数（件数） 15人（95件）

3 意見の処理状況

（単位：件）

処理区分 項目	計画素案に関する意見							その他	計
	(1)第1章 計画の策定 にあたって について	(2)第2章 市民意識調 査の結果か らみえる本 市の食育に 関する現状 について	(3)第3章 第二次かご しま市食育 推進計画に おける最終 評価につい て	(4)第4章 食育推進の 取組につい て	(5)第5章 施策の展開 について	(6)第6章 計画の数値 目標につい て	(7)第7章 計画の推進 体制につい て		
A 意見の趣旨等を反映し、計画（素案）に盛り込むもの	1	1	0	1	1	0	0	1	5
B 意見の趣旨等は、計画（素案）に盛り込み済みのもの	2	0	1	2	4	0	0	0	9
C 計画（素案）に盛り込まないもの	2	4	1	0	1	3	0	1	12
D 意見の趣旨等を計画（素案）に基づく施策の検討にあたり参考にするもの	0	2	5	2	2	0	2	0	13
E その他要望・意見等	6	7	6	7	10	9	7	4	56
計	11	14	13	12	18	12	9	6	95

第三次かごしま市食育推進計画素案に関する意見の検討結果一覧表

第三次かごしま市食育推進計画の素案に係るパブリックコメント手続の実施結果について

項目	事業計画（素案）に関する意見		処理区分	
		(1) 第1章 計画の策定にあたってについて	(2) 第2章 市民意識調査の結果からみえる本市の食育に関する現状について	A 意見の趣旨等を反映し、計画（素案）に盛り込むもの
	(3) 第3章 第二次かごしま市食育推進計画における最終評価について	(4) 第4章 計画の基本理念等について	B 意見の趣旨等は、計画（素案）に盛り込み済みのもの	
	(5) 第5章 施策の展開について	(6) 第6章 計画の数値目標について	C 計画（素案）に盛り込まないもの	
	(7) 第7章 計画の推進体制について		D 意見の趣旨等を計画（素案）に基づく施策の検討にあたり参考にするもの	
	2 その他		E その他要望・意見等	

番号	項目	意見等の概要	処理状況	処理区分
1	(1) 第1章 計画の策定にあたってについて	栄養の専門知識を持つ管理栄養士を活用することが基本目標の1つにある、食に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身につける上で、必須であると思われる。しかし本計画中に1回も管理栄養士の名称が出てこない。	素案29ページの「主な取組—市の取組」「ア. 各種健診等で、バランスのとれた食事について、知識の普及・啓発に努めます。」を「ア. 各種健診等で、栄養バランスに配慮した食事について、管理栄養士・栄養士等の専門職による知識の普及・啓発に努めます。」に変更いたします。	A
2	(2) 第2章 市民意識調査の結果からみえる本市の食育に関する現状について	P7の下図、P9の下図、P12の下図、P14の下図、P16の図へ単位%、P18の下図へ単位人、の表示がないので、入れるとわかりやすい。	単位の表示を追加いたします。	A
3	(4) 第4章 計画の基本理念等について	P25 基本理念「食を通じて～かごしま市の実現」とP26の基本理念「『食』を通じて～かごしま市の実現」とあるが、どちらかに統一した方がよい。（概要版P6～P7）	素案26ページの基本理念の「食」の「」を削除いたします。	A
4	(5) 第5章 施策の展開について	9ページ、10ページ（概要版）の青年期、高齢期には歯科受診が勧奨されていますが、乳幼児期、学童期も歯科を定期的に受診し、口腔機能発達を見守る環境を作るように記載いただきたいです。ご検討よろしく申し上げます。	素案29ページの「主な取組—市民の取組」「ア. 乳幼児期」「イ. 学童、思春期」に「定期的に歯科健診を受診し、口の健康を保ちましょう」を追加いたします。	A
5	(7) 第7章 計画の推進体制について	P45 1行目、「食育を推進する～団体が連携して～」→「団体と連携して～」にした方がわかりやすい。（概要版P18）	素案45ページの「食育を推進するために、関係機関・団体が連携して取り組んでいきます」を「食育を推進するために、関係機関・団体と連携して取り組んでいきます」に変更いたします。	A

6	1	(1)	第1章 計画の策定にあ たってについて	鹿児島は食の宝庫であるにもかかわらず、県民がその価値を認識できていない。これからの健康行政の柱として、積極的に具体的に押しすすめていただきたい。	素案25ページに記載している通り、新たに3つの基本目標を掲げ、取組を行っていくこととしております。	B
7				健康増進法及び食育基本法では、「国民の責務」としての自助と食育推進に寄与することが明記されています。また、国の第三次食育推進計画においては、目標達成に向けた推進体制において、国民運動としての食育推進が掲げられています。食育推進は、国民の責務であること、食育を国民運動となるように活性化したい点を明記した方がよいのではないのでしょうか。	素案2ページに記載している通り、本計画は食育基本法に基づいて策定することとしております。	B
8	1	(3)	第3章 第二次かごしま市 食育推進計画にお ける最終評価につ いて	学校の食育は進んでいるようですが、地域社会にはどうでしょうか?食生活改善推進員の数の増加だけでは評価できないと思います。幅広い活動を望みます。	第三次計画では、食生活改善推進員だけではなく、「食に関するボランティア数の増加」という目標値に変更することとしております。	B
9	1	(4)	第4章 計画の基本理念等 について	食育推進の目的意識を明確にするために、「生活習慣病の予防と健康寿命の延伸」を明記した方がよいのではないのでしょうか。	素案26ページの「基本目標2 ライフスタイルに応じた食育に取り組もう!」に「基本方針③健康寿命の延伸につながる食育の推進」を記載しております。また、素案35ページの「基本方針(3)健康寿命の延伸につながる食育の推進」では、生活習慣病の予防についても記載しております。	B
10				食と環境は密接に関わることから、さまざまな関係者が連携することで食育への関心度が高まると思います。	素案45ページに記載している団体や関係機関等との連携を、引き続き図っていくこととしております。	B
11	1	(5)	第5章 施策の展開につ いて	食に関して、知識や経験が低いため、学ぶ、そして体験する機会として、幼・保・学校の給食を活用していく方向へ。	素案34ページに記載している通り、保育所や学校等における食育の様々な体験及び授業、並びに給食を通して子どもたちの食への関心を高める取り組みを行うこととしております。	B
12				食文化継承に関する取組みの推進について、郷土料理や伝統的な食材を風化させないことは大切な事ですが、欧米化した日本人の食卓から、和食・ごはん中心の魚食・野菜の摂取量・お味噌汁など、基本的な食生活を見直すことが最も大切だと思います。	素案27ページからの「基本目標1」「基本目標2」につきましては、基本的な食生活についての知識及び実践等についての取組を記載しております。	B
13				P36 ウ、エの「毎食、主食、主菜～」→「食事はバランスよい主食、主菜～」とした方がわかりやすい。 (概要版P13)	「食事をバランスよくとる」ということを「主食、主菜、副菜をとる」という表現により示しております。	B
14	2		その他	「栄養バランス等を意識した食生活を送っている人の割合の増加」では、第二次では食事バランスガイドが出てきていたのですが、第三次は他の指針等もあるので取り入れやすいようにしていくということであるが、市民の取組(ライフステージ別)で、栄養バランスというと主食・主菜・副菜がわかりやすいので、「ウ、青年期、壮年期」「エ、高齢期」には、生活習慣病予防の市民の取組と重複するが、「毎食、主食・主菜・副菜をとみましょう」を入れるのはどうでしょう。	「栄養バランス」につきましては、素案30ページの「ウ、青年期及び壮年期」では、「・栄養バランスや自分の適量を判断し、自ら選択するようにしましょう」と記載しております。 「エ、高齢期」については、「・自分の健康状態に合った食生活を心掛けましょう」を「・栄養バランスに配慮した食事をとるなど、自分の健康状態に合った食生活を心掛けましょう」に変更いたします。	B

15	1 (1)	第1章 計画の策定にあ たってについて	P2、2. 計画の位置づけ「本市の行財政運営を総合的かつ計画的に進めるための最上位計画である第五次～」→「進めるための最上位計画である」は不要と思う。(概要版P1)	第五次鹿児島市総合計画の個別計画としての位置づけであることから、記載しております。	C
16			メタボリックシンドロームと判断された人の中で「管理栄養士に栄養指導を受けている割合」を目標項目に入れるべきである。	ご指摘の項目につきましては、国の計画に示されていないこと、また、根拠となる数値に係るアンケートを実施していないため、目標項目には入れておりません。	C
17	1 (2)	第2章 市民意識調査の結果からみえる本市の食育に関する現状について	調査結果を「18歳以上の市民」とせず、世代が分ると各世代で適切な手段が検討できてよいのではないのでしょうか。	調査結果報告書である「第二次かごしま市食育推進計画最終評価のための食育に関する市民意識調査」では、世代別の結果を記載しております(ホームページにて公表中)。しかし、世代あたりの母数が少なく、本計画に記載するには信頼度が低いため、記載しておりません。	C
18			県内の他市町村との比較か、全国平均との比較等があると数字の示す意味がより分かると思います。中高生の教科書(家庭科)に食品ロスの記載があり、授業でも必ず扱うようになったので、次回は数値がよくなると思います。子どもたちは育てられる立場なので、食育という意識が薄いのではないだろうか。子どもの食育への関心の項目が必要なのか、検討がよいと思います。	県内の他市町村のうち、本市と同等の人口規模の市町村がなく、また、本市の調査内容につきましては独自のものです、国においては調査していない項目等もあることから、記載しておりません。 なお、素案4ページの「(1)食育への関心について」の「未就学児・小学生」の結果につきましては、その保護者の回答によるものでございます。	C
19			P4(概要版)(10)郷土料理・伝統食について、1行目の「～人の割合は世代に関わらず4割程度～」とした方が、計画案と一致した方がわかりやすい。	概要版につきましては、今回の素案の概要としてのみ作成したものでございます。	C
20			よくかんで味わっている人の割合、ゆっくり食べることは食べすぎを予防する上で重要です。25年度よりも増加していますが、さらに上を目指すべきかと思えます。目標値55%以上は低すぎます。	国の目標値及び本計画の計画期間が3年間ということを考慮し、設定しております。	C
21	1 (3)	第3章 第二次かごしま市食育推進計画における最終評価について	P20 下から5行目、「25年度と比較すると増加しています」→「29年度の共食については、25年度と比較すると～」にした方がわかりやすい。	他の記載文章に合わせております。	C
22	1 (5)	第5章 施策の展開について	P35 基本方針(3)健康寿命の5行目「生活習慣病を予防する上で、規則正しい食生活～」→「規則正しい運動と食生活は基本～。生活習慣病の予防は運動も大事だと思う。	運動につきましては、生活習慣病を予防する上で大切ですが、本計画は「食育推進計画」であること、また、素案35ページは「基本方針(3)健康寿命の延伸につながる食育の推進」の施策展開についての記載であることから、記載しておりません。	C
23	1 (6)	第6章 計画の数値目標について	食育に関心を持っている人の割合の目標は、90%以上と高いように感じました。	本目標値は、第二次計画からの継続になります。また、国の食育推進計画についても同様の目標・目標値となっているため、90%以上に設定しております。	C
24			P44 平成33年度目標値 概要版P17 1.食育に関心の90%以上、5.食品の選択の90%以上、11.農林漁業体験の85%以上は目標値が高いと思う。3年間で達成できる数字とは少し疑問。(概要版P17)	本目標値は、第二次計画からの継続となっております。	C
25			2の目標値を高くして、積極的な取り組みをすべきである。この数値が低いと、取り組みにも力が入らない。	本計画の計画期間が3年間ということを考慮し、設定しております。	C
26	5	その他	概要版の目次、基本目標3の(3)環境に配慮した食育の推進～⑩→⑪が正しい。	概要版につきましては、今回の素案の概要としてのみ作成したものでございます。	C

27	1	(2)	第2章 市民意識調査の結果からみえる本市の食育に関する現状について	第二次計画で様々な計画が推進された結果、各年代で食育に関心が持てているのではないかと感じる。しかし「朝食の欠食」に関しては、世代が上がるごとに食べない割合が増加していることから、この分野に関してもっと推進を図るべきだと感じる。	素案35ページに記載している通り、「朝食を食べない人の割合の減少」の目標値を20～30歳代男女、40歳代の男性と設定し、取組んでいくとともに、ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
28				2(1)食育への関心について 中学生～18歳未満が最も低いという結果が大きく気になる。次代を担う生徒～青年期こそ、郷土料理の良さを知らせることを考えていかなければいけない。	素案39ページの「主な取組—市の取組」「ア. 保育所、学校等での給食に郷土料理を取り入れる」取組等を実施するとともに、ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
29	1	(3)	第3章 第二次かごしま市食育推進計画における最終評価について	全体的に関心が希薄になっていることが明白に受けとれる。投げかけでなく、実践を伴わなければ効果は得られない。	本計画書では、各目標について市の取組に加え、新たに「市民の取組（ライフステージ別）」という項目を記載しております。これは、食育について、食育に関する施策を市民と一体となって推進することを目的にしております。更なる取組を進めるため、ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
30				最も重要な食育の関心度について、市や関係者のご尽力にも関わらず、11.1%も減少している点が気になります。その要因について、高齢化や、家庭環境の変化など、市民の生活環境要因があるのではないのでしょうか。そうした点を検証して、有効な手立てを検討する必要があるのではないのでしょうか。	ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
31				P21 下から5行目、「29年度は69.0%では「69.1%」が正しいのでは。	素案21ページの「⑨鹿児島県の郷土料理・伝統食を1種類でも作ることでできる人の割合の増加」については、全体（100%）から無回答及び作ることできないと回答した割合を除いた数値で評価しております。また、本調査につきましては、比率は全て百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入しております。このため、百分比の合計が100%にならない、または、100%を超える場合がございます。素案3ページ下段にその旨を記載いたします。	D
32				前年度、前々年度と比較して、目標値がとて高く感じた。達成できるものなのか？	各種施策に、鋭意取り組んでまいります。	D
33				5. 食生活改善推進員の数が少なくなっていることに問題を感じる。この人たち（身近な町内会の方々）を活用して増やす努力をしてほしい。	ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
34	1	(4)	第4章 計画の基本理念等について	「食の循環や環境」について考えている世代が少ないと思う。市民を引きつける魅力的な取り組みが必要。	素案37ページの「基本目標3 食の循環や環境を考えよう！」の「主な取組—市の取組」に記載しております取組等を実施するとともに、ご意見を今後の施策の検討にあたり参考とさせていただきます。	D
35				環境への配慮と食品ロスなどの問題の部分は、国の第三次食育基本計画の数値目標になっているので致し方ないと思いますが、食品業界の課題が多く、一般家庭の課題や実感度は少ないのでは、と思います。 むしろ、先日、鹿児島市で生物多様性全国ミーティング&自治体ミーティングが開催されたように、持続可能な開発目標に向けて、環境保全型農業の普及や農薬化学肥料・プラスチック等の土壌・水質等の環境汚染、後進国の食料不足、日本の食料自給率の低迷と輸入食品、食品ロス等、食料生産から流通・消費までさまざまな課題があります。世界的な潮流を鑑みて、人づくり・まちづくりを進めて行く必要があると思います。	ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D

36	1	(5)	第5章 施策の展開について	市の取組として、食に関する正しい知識の情報発信は大変重要であると思う。様々な形での発信を!!	素案27ページの「基本目標1 「食」について幅広い知識を身に付けよう!」の「主な取組—市の取組」に記載しております取組等を実施するとともに、ご意見を今後の施策の検討にあたり参考とさせていただきます。	D
37				基本目標2ライフスタイルに応じた食育に取り組もう!の中に、あいご会や町内会・自治会等での食育活動を支援する施策を検討できないでしょうか?例えば、地域で食育活動や共食の機会を実施する際、一部費用を補っていただけるような施策があると市民の責務として、食育への意識が高まり、関心度の向上に繋がる取組みとなります。 さらに、少子高齢化で衰退している地域コミュニティへの一助、さらには地域全体の意識改革になるのではないかとと思います。	素案34ページに記載している通り、地域社会全体で一体となった取組を推進してまいります。 また、食育活動など、町内会が実施する研修活動や親睦交流活動につきましては、その経費の一部を助成する補助制度がございます。	D
38				青年期、壮年期に朝食を食べない傾向が高いので、施策にもう少し取り入れてはどうか。	素案35ページの「主な取組—市の取組」で「ウ. イベントやホームページ、保護者だより等で、規則正しい食生活について啓発に努めます」としており、ご意見を今後の施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。	D
39	1	(7)	第7章 計画の推進体制について	具体的な目標を元に、関係機関との連携を図っていただきたい。	本計画の計画書が出来上がり次第、素案45ページに記載しております団体や関係機関、及び本市の学校、保育所等に配布・周知広報するなどして、関係機関団体との連携を図っていくこととしております。	D

40	1	(1)	第1章 計画の策定にあ たってについて	インターネット等を通して「食」に関する様々な情報を簡単に手にすることができるようになったので、目標の1つである適切な判断を行う能力を身に付けることはとても重要だと思いました。	ご意見として承ります。	E
41				おおむねいいと思います。	ご意見として承ります。	E
42				本市関連計画と重複することのないように整合性を図ることは、大切である。そして食育推進計画に入れるべきである重要なものだけはしっかりと取り入れるようにすると思います。	ご意見として承ります。	E
43				ぜひ市民一体となって推進して頂きたい。	ご意見として承ります。	E
44				第三次にふさわしい趣旨だと思います。	ご意見として承ります。	E
45				第二次かごしま市食育推進計画の最終評価の実績値を基に達成可能な数値かどうかの再考も含めて推進してほしい。目標は高ければ高いほど良いとは言えない。かなり実績と乖離した目標値もある。	ご意見として承ります。	E
46	1	(2)	第2章 市民意識調査の結果からみえる本市の食育に関する現状について	朝食の欠食は若い世代に多いイメージがあったので、世代が上がるにつれて増加（ほとんど食べない人が）している結果には驚きました。	ご意見として承ります。	E
47				結果が思ったよりも低い印象でした。	ご意見として承ります。	E
48				平成17年の食育基本法が策定されてから13年経ち、その言葉に慣れてしまっ、新鮮味が感じられなくなっているのでは。幼稚園・保育園・小学校位までは授業の1つとしてこれまでずっと継続して食育に取り組んでこられてきていると思います。全体的に悪化しているようですので、気持ちを新たに目標を立てて推進していく必要があると思います。	ご意見として承ります。	E
49				結果から見て、食がメディアや好奇心をあおるような事例に踊らされ、食の原点を見失っていると感じる。すべての世代を含めた情報提供の場を作っていないと解決しないと思う。	ご意見として承ります。	E
50				家族、学校、地域、社会が一体となって食の大切さを伝えていってほしい。	ご意見として承ります。	E
51				食育への関心については、中学生では興味（関心）がない生徒と、関心がある生徒の差がはげしい気がします。もっと興味、関心を持ってもらうように取り組んでいきたいと思っています。	ご意見として承ります。	E
52				分析された通りだと思います。	ご意見として承ります。	E

53	1	(3)	第3章 第二次かごしま市 食育推進計画にお ける最終評価につ いて	思っていたよりも「食」に関する市民の関心や意識が高いと感じた。	ご意見として承ります。	E
54				朝食を食べない人の割合の減少の30歳代の男性の割合が15%となっているのにおどろいた。	ご意見として承ります。	E
55				よいと思います。	ご意見として承ります。	E
56				私は個人的に意識して購入しているが、学校現場においては地場産の農畜産物・水産物はできるだけ使用したいが、季節により品物が手に入りにくいものもあり、また、価格も高かったりと難しい面もあります。	ご意見として承ります。	E
57				朝食欠食が減ったのは、朝食の必要性を耳にする機会が増えたからで、よかったと思う。それ以外は、再び呼びかけていく工夫が必要である。	ご意見として承ります。	E
58				25年度の現状値からして以降もパーセンテージの改善が見込まれそうな数値が、なかなかさうもいかないという難しさが良く分かります。	ご意見として承ります。	E
59	1	(4)	第4章 計画の基本理念等 について	食育は学校で行うイメージだったので、家庭や地域などライフスタイルに 応じた食育はとても良いと思った。	ご意見として承ります。	E
60				いいと思います。	ご意見として承ります。	E
61				(2) ライフスタイルにしばられず、将来を予測できる能力も必要。	ご意見として承ります。	E
62				よいと思います。	ご意見として承ります。	E
63				3つの基本目標はわかりやすく、取り組みやすいものだと思います。	ご意見として承ります。	E
64				ライフスタイルにより、自分の目指す食生活が違うので、ライフスタイル 別というのはとてもよいです。食の循環を考えることも良い目標だと思 います。	ご意見として承ります。	E
65				フィッシュボーン（魚の骨）の様に体系ごとに掘り下げられた基本方針か ら導き出された理念だと思いました。	ご意見として承ります。	E
66	1	(5)	第5章 施策の展開につ いて	どれもとても良い目標や方針だった。	ご意見として承ります。	E
67				項目がたくさんありますが、どの項目についてもしっかりと実施されたら いいと思います。	ご意見として承ります。	E
68				基本方針の下に関連する数値目標があるのはわかりやすくよいと思いま す。また、市の取組と市民の取組（ライフステージ別）にあるのも、市民 の人たちが自分が取り組むことだと理解しやすく、とてもいいと思いま す。	ご意見として承ります。	E
69				全体的にこの計画の評価は低下傾向にある。全国モデルともなるような大 きな目標として、市民全体がかかわっていけるイベントを開いてほしい。 (〇〇月間とか)	ご意見として承ります。	E
70				それぞれの場所で啓発していくことは大切だと思う。	ご意見として承ります。	E
71				基本目標について、それぞれ3つずつの基本方針で取り組みがしめされてお り、進めやすいと思います。	ご意見として承ります。	E

72	基本目標3. 食の循環や環境を考えようの中で、新潟県三条市、千葉県いすみ市、大分県臼杵市等、自然農法や有機農法で栽培された米や野菜を学校給食に積極的に導入し、環境と調和した持続可能な地域づくりと子どもたちの食育推進の取組みが始まっています。その他、佐渡のトキ等、自然生態系を蘇らせる取組みとして、環境保全型農業とその理解が広がっています。	ご意見として承ります。	E
73	漁業面においては、年々、漁獲量が減少しているとの話を伺います。豊かな農林水産物を守るためにも生物多様性の保護が重要であり、食育を通じての環境教育が必要なのではないのでしょうか？	ご意見として承ります。	E
74	市報をきちんと読む家庭には伝わるとは思いますが、そうでない家庭には、講座やイベントはやや周知しにくいと思います。ライフステージ別の取組はとても分かりやすくよいと思います。	ご意見として承ります。	E
75	微細な項目に至るまで良く検討されていると思います。	ご意見として承ります。	E

76	1	(6)	第6章 計画の数値目標に ついて	目標値が達成できるといいと思います。	ご意見として承ります。	E
77				朝食を食べない人の割合の減少で、20～30歳代の女性の目標値を設定したことはいいことです。	ご意見として承ります。	E
78				よいと思います。	ご意見として承ります。	E
79				共食の回数は、中学生では塾に通う子どもも多くいて、なかなか難しい面もあります。	ご意見として承ります。	E
80				1人暮らしの人が共食する割合を目標にする理由は？	今後、高齢化や未婚率の増加により、1人暮らしの割合が増加すると予想されております。誰かと食事を共にする頻度が高い人は心の健康状態や食生活が良好な傾向にある、という調査結果も出ております。また、地域等で共食することによって、食事を楽しく食べることに加えて、地域が連携するきっかけにもなり、食育の輪が広がっていきます。このことにより、本目標を設定いたしました。	E
81				平成25年度と29年度を比較し、悪化している現状の中、高い数値目標が設定されていると思います。達成の鍵は、市民一人一人の自覚だと思います。特に子供たちや若い世代への食育活動は、次世代の鹿児島市づくりへと繋がっていきます。市民運動になるような有効な施策と予算措置を期待します。	ご意見として承ります。	E
82				よいと思います。	ご意見として承ります。	E
83				目標項目1の18歳以上や、項目11が一過性のものにならない様、後戻りすることのない様に定着化を望みます。	ご意見として承ります。	E
84				目標が達成されるように取り組んでほしいです。	ご意見として承ります。	E
85	1	(7)	第7章 計画の推進体制に ついて	とても良いと思った。	ご意見として承ります。	E
86				より身近な機関・団体・学校・学生等と連携することで、食育が推進されるといいなと思います。	ご意見として承ります。	E
87				ネットワークの活用をもっと積極的に！市主催ですべてのネットワークが参加するイベントと組んだら。（プロジェクトチームではなく）	ご意見として承ります。	E
88				連携してとりこんで下さい。	ご意見として承ります。	E
89				各団体が連携して食育を進めていくことがとても大切だと思います。	ご意見として承ります。	E
90				よいと思います。	ご意見として承ります。	E
91				頑張ってください。	ご意見として承ります。	E

92	3	その他	食に対する関心が低下し、「考える食」が失われていきつつあることを痛感します。もっと一般市民に「見える化」をしてかないと！	ご意見として承ります。	E
93			今回、妊娠糖尿病になって、食の知識の大切さを感じました。子どものころからの食育で糖尿病や、色々な病気を防げるなら、食育ってとても大切だと感じます。	ご意見として承ります。	E
94			鹿児島はすべての食材に恵まれている。他県は自然災害も温暖化でよりダメージも大きい。鹿児島から全国に食の育ちをアピールし、力をそそいでほしい。基本は自然食品、育てる人の育成も考慮してほしい。	ご意見として承ります。	E
95			市民のひろばは食育レシピなど多くの情報があること等、再認識しました。	ご意見として承ります。	E